

令和7年度の一般会計は、過去最大の1,593億円

- 我が国は、デフレからインフレへの転換局面にあり、約30年ぶりの物価・賃金上昇に直面。久留米市の税収の見込は過去最大の435.4億円
 - 社会保障費やインフラ維持経費の増加、物価や賃金の高騰により財政需要が大幅に増大。
 - 行政システムの標準化対応や上津クリーンセンター更新など、市民生活に不可欠な大規模事業が進行。
- これらの課題に適切・的確に対応し、かつ将来的に持続可能で魅力的なまちづくりを進めるため、地方創生交付金などの積極的活用や基金活用の増額、事業の見直し等によって財源を確保。

	令和6年度	令和7年度	増減
予算	1,464億円	1,593億円	+129億円
税収	407億円	435.4億円	+28.4億円

①+②=1608.5億円

3月補正前倒し
15.5億円②

+

令和7年度予算
1,593億円①

国の補正予算等を活用し、令和7年度予算から3月補正予算に一部前倒しをしました。

会計別予算総括表

(単位:千円,%)

区 分	令和7年度 予算額(A)	令和6年度 予算額(B)	比 較		
			増減額(A-B)	増減率	
久留米市予算総額	295,471,000	278,001,000	17,470,000	6.3	
一 般 会 計	159,300,000	146,400,000	12,900,000	8.8	
特 別 会 計	国民健康保険事業	32,587,000	33,223,000	▲ 636,000	▲ 1.9
	競輪事業	38,162,000	37,084,000	1,078,000	2.9
	卸売市場事業	403,000	370,000	33,000	8.9
	市営駐車場事業	170,000	109,000	61,000	56.0
	介護保険事業	30,406,000	28,924,000	1,482,000	5.1
	農業集落排水事業	275,000	312,000	▲ 37,000	▲ 11.9
	特定地域生活排水処理事業	248,000	236,000	12,000	5.1
	後期高齢者医療事業	5,946,000	5,576,000	370,000	6.6
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	123,000	150,000	▲ 27,000	▲ 18.0
	産業団地整備事業	1,500,000	1,361,000	139,000	10.2
	計	109,820,000	107,345,000	2,475,000	2.3
公営企業会計					
水道事業	8,405,000	7,726,000	679,000	8.8	
下水道事業	17,946,000	16,530,000	1,416,000	8.6	
計	26,351,000	24,256,000	2,095,000	8.6	